

戸別補償の検証開始

民主・WT 3党協議視野に議論

民主党農林水産部門会議の戸別所得補償制度等

検討ワーキングチーム

(WT、石山敬貴座長)

は18日、与野党3党協議

を視野に入れ、同制度の

政策効果を検証するため

の議論を始めた。同日

は、農水省が今年度の制

度加入件数や交付金額の実績などを報告。前対策に当たる水田・畑作経営

所得安定対策との比較も

行った。来週には有識者の意見聴取も予定し、検証作業を本格化させる。

民主、自民、公明の3

際、2009年衆院選マ

ニフェスト（政権公約）

の「見直し」に踏み込み、

戸別所得補償制度は「政策効果の検証を基に、必要な見直しを検討すること

ことで合意した。

3党協議に当たっては、こ

うした議員立法の扱いも

焦点になるとみられる。

石山座長は「生産現場

では制度の継続性を求める

声も多い。農家の意見に

目を傾けながら、客観的に

12年産米生産数量目標 30日に決定

農水省は18日、米の基

業・農村政策審議会食糧

部会を30日に開き、20

数量目標などを盛り込んだ

基本方針を決める。生産

数量目標の都道府県別

配分は12月1日に示す予定だ。

11年産主食用米の生産

数量目標は795万ト

で、初めて800万トを

下回った。米の需要は減

る。

す。